

しょうこう
沖繩照甦クリニック
婦人科がんセミナー

最近では10代、20代の若年層でも子宮がんが増加しています。自覚症状が現れた時には、すでにがんが進行していることが多く、治療も難しいのが現状です。

皆さんは検診の信頼性や、がんが見つかった場合の治療の現実をご存知ですか。これは決して人事ではありません。女性はこの悲惨な現実を知り、予防に取り組んでほしいと思います。

見えない、気づかない 卵巣がんの現実



ナカチ ヒロマサ
仲地 廣順 プロフィール

医学博士、産婦人科専門医
信州大学医学部卒、虎の門病院/医員、琉球大学医学部付属病院/講師、米国マサチューセッツ州立医科大学/文部省在外研究員を経て、沖縄県立南部病院/産婦人科部長、南部徳州会病院/婦人科部長を務めた。
現在、沖縄照甦クリニック院長として婦人科がんの早期発見、予防的治療に取り組む。
婦人科がんの診療・治療には多くの実績があり、国際学会や日本癌学会への発表も行っている。



沖縄照甦クリニック外観



沖縄照甦クリニック 受付

日付：平成21年5月15日（金）

入場無料

時間：15:00～16:00

会場：ホテル コスタビスタ沖縄 1階 EMギャラリー

講師：沖縄照甦クリニック 院長 仲地 廣順（なかち ひろまさ）

卵巣は、腫瘍が出来て大きくなっても、痛みもなく周囲への圧迫症状が出にくいので、サイレント・キラーという別称もある、異変に気づきにくい臓器の一つです。
また、卵巣がんは近年増加していて、高齢者に多くみられ、年間4500人の女性が亡くなっています。他人事とは思わずに、一度はこの現状を知ってください。



医療法人 照甦会
沖繩照甦クリニック

沖縄県中頭郡北中城村喜舎場1511
（EMウェルネスセンター施設内）
お問合せ：098-935-1280